

第1期生卒業

決意新たに



名古屋工大・工場長養成塾

日本のモノづくりを支えます。名古屋工業大学が中堅・中小企業の工場長や後継者を育成しようと開講した「工場長養成塾」の第1期生の卒業式（写真）が8日、同大講堂で開かれた。卒業したのは自動車部品、電子部品製造や印刷、建築業など幅広い業種にかかわる24人。松井信行学長が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡した。

同塾は豊田自動織機、デンソー技研センター（愛知県安城市）の協力を得て07年度に事業化した。第1期生は07年9月の入塾以来、延べ146時間にわたり実践重視のカリキュラムを学んだ。

卒業式には推進プロジェクト・リーダーとして同塾を支えた磯谷智生豊田自動織機顧問も出席、「学んだことを（自社工場の）現場に生かしてほしい」と激励、卒業生は決意を新たにしていた。（名古屋）